

選 評 用 紙

平成26年度バスケットボール全国総合体育大会埼玉県予選会

平成26年6月22日

会 場 和光市総合体育館 J コート 第 1 試合

対 戦 埼玉栄 高校 26 - 18 山村学園 高校

18 - 6

81

17 - 21

63

20 - 18

第1P 共にマンツーマンで試合が始まる。山村が#4のミドルシュートで先制。埼玉栄も3Pで応戦。山村#5が身体能力を活かしたドライブを見せれば、埼玉栄も合わせから#5のシュートと互いに一步も譲らない。残り6分埼玉栄がスティールからの速攻で山村のファールを誘い、埼玉栄#5がFTを外すが、リバウンドシュートを決める。徐々にリバウンドの差が出始め、埼玉栄がペースを掴む。山村#5が得点を重ねるが、埼玉栄はスティールやリバウンドからの速攻で点差を広げてこのピリオドを終える。

第2P 埼玉栄のディフェンスに対して、なかなか得点できない山村は3Pで打開を図るも決まらず、逆に埼玉栄#5が連続してリバウンドシュートを決める。加えて山村のパスミスから埼玉栄#4が絶妙な飛び出しでランニングシュートを決めたところで山村1回目のTO。埼玉栄は#7が見事なパス・ランで得点し、流れを渡さない。山村は#5にボールを集めるが、埼玉栄の素早い寄せでシュートまでいけない。埼玉栄は#7のゲームコントロールで確率の良く加点していく。残り2分山村が2回目のTO。直後山村#10がシュートを決めるが、単発になる。終了間際、山村が激しいディフェンスからボールを奪うが得点につながらず、埼玉栄が20点の大量リードで折り返す。

第3P 互いに点を取る中で、残り6分山村#15がバスケットカウントをもらい、FTも決める。一気に流れに乗りたいた山村だったが、埼玉栄#4が3Pを決め、その流れを断ち切る。山村は前半同様#5にボールを集めるが、ディフェンスの壁が厚く、得点することができない。埼玉栄にもミスが出始めるが、山村はボールを奪っても周りのフォローが遅く、速攻にならない。流れは埼玉栄のまま、残り37秒で山村がTO。山村は#10がFTをもらおうが活かせず、逆に埼玉栄#4がFT2本ともはずすも3Pを決めて、このピリオドを終える。

第4P きっかけが欲しい山村は#13がファールを誘い、FTを2本とも決める。続けて#15がミドルシュートを決めて反撃ムードを作りかけるが、ここで埼玉栄#4が3P。山村の得点は単発に終わってしまい、きっかけをつかめない。埼玉栄はめまぐるしくメンバーチェンジをするがその勢いは衰えない。残り2分山村がTOをとり、激しいディフェンスから最後の反撃を試みるが実を結ばず、終始集中してディフェンスを続け、リバウンドを制した埼玉栄が、81-63で勝利した。

(記録者 : 埼玉平成 高校 強 瀬 篤)